

# フォトニュース

## あじさいまつりを開催



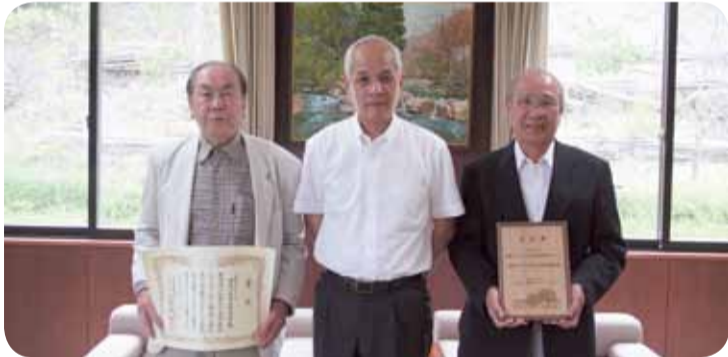
▲7月3日・4日、大野アルプスランドであじさいまつりが開催されました。今年は第15回目の節目のまつりとして、あじさいの記念植樹を行うなど、これまで以上に華やかな光景となりました。約4,500人の参加者は、あふれんばかりの一面のあじさいに囲まれ、自然を満喫しました。

## ほたるについて学ぼう!



▲6月12日ふるさと館で、約900人参加のもと「ほたるの夕べ」が開催され、ほたるの学習会とミニコンサートが行われました。ほたるの学習会では、親子連れなど約45人が参加し、クイズなどを交えて、猪名川に生息するほたるの生態について楽しく学びました。

## 森林ボランティア里山倶楽部が会長賞を受賞



▲6月1日、町森林ボランティア里山倶楽部が、森林レクリエーション地域美化活動コンクールにおいて、全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しました。朽原めぐみの森、内馬場の森(雨森山)の2カ所で下草刈り、不用木、倒木の処理や遊歩道の整備など、里山林の保全活動を評価されての受賞となりました。

## いなか歴史ウォーク 88 平賀源内の銀山来訪

安永元年(1772)の夏ごろ、江戸時代きっての博物学者・戯作者の平賀源内(1728~1779)が多田銀銅山を訪れました。

源内は高松藩出身で、長崎で医学・本草学を学び、江戸へ出て物産会の開催で有名となりました。早くから鉱山に興味を示しており、明和3年(1766)には現在の埼玉県で金山事業を開始し、安永2年(1773)には秋田藩が阿仁銅山などの再開発に招いています。明和7年(1770)~8年に「阿蘭陀翻訳御用」のため再度長崎へ留学。明和8年の後半から翌安永元年にかけて約1年程大坂に滞在。「此間、



▲水抜き坑(大切坑)

多田銀山銅山見聞いたし候、さてさておびただしき儀驚目申し候(中略)水抜工夫いたし申し候」などと書いた書状が残っており、この折に来訪し、坑道の排水を工夫したようです。約100年後、最後の銀山役人秋山良之助が頭痛・肩こりなどに効くというエレキテル(源内が復元製作の摩擦起電機)を使っています。

## 手づくりの国際交流大会を開催



▲6月11日、六瀬中学校で国際交流大会が開催されました。今年は、JICAの研修員3人(ミャンマーから1人、フィリピンから2人)を迎えました。生徒たちは学年ごとに、事前に調べたことを発表したり、剣道やダンスなどを披露したり、一緒に給食を食べたりして、交流を深めました。

## いっぱい泳ぐぞ!!



▲6月16日、楊津小学校でプール開きが行われ、楽しみにしていた4・5・6年生は、1年ぶりにプールの水の感触を楽しみました。「冷たいけど、すごく気持ちいい!」「プールは楽しい!」など、子ども達はこの夏初めてのプールに大喜びでした。



六瀬幼稚園



◀ぼくもそらめくんのふわふわベッドでねてみたいな。

なるせ 晴くん(年長)

▲おともだちといっしょにしたプールあそび、たのしかったよ。  
岩井 夢ちゃん(年長)



▶うさぎさんはサンタさんにどんなプレゼントもらったのかな?  
中川 睦士くん(年長)

◀すいぞくかんでみた、イルカショー!!とってもたのしかったよ。  
山本 朔大くん(年長)

